町長は選挙公約である（大崎スーパースタジアム・武道城）は本当に出来るのか

高野　初雄議員

建設場所・用地取得について計画どおりに進んでいるのか。

前に進んでいない

町　長

市町村合併等の影響でプロジェクトが順調に進んでいるとは言いがたいが、場所については、ふれあいの里公園付近から国有林と考えており、用地取得については、大隅森林管理所に3月に打診している。前向きに取り組んで

実施計画　造成工事期間は

平成17年度着手、18年度完成目標年度とした計画案と言うことであったが、その通り計画は進むと理解していいのか。

進んでいない実態である

町　長

合併等の関係で大崎町がどのような方向に進むかわからなかったので、今のところ計画を組むまでいっていないのが実態である。財政面からやれるところから早くやっていく。

予算について

高野議員

予算の中で陸上競技場・野球場・武道城建設で、20億円前後の予算が必要であると言うことだが、予算はいつ計上するのか。17年度予算に計上すべきではないか。

出来るものから

町　長

チームの中で再度審議をし、ふれあいの里公園内で出来るもの、また払い下げを受けて整備するもの等の種類分けをしなくてはいけない。現段階では財政については構想を立ち上げた時期と現在では大幅に変っていること等から今のところはっきりと17年度予算に計上するとはいえない。

武道城建設は

高野議員

建設するのに数億円の予算が必要とのことであるが、ふれあいの里公園の体育館を武道城として改築すると言うことは考えられないか。

見直しをしながら

町　長

当初は6～10億円が必要と言うことであったが、簡素化出来るところは簡素化し、事業費そのものは押さえられるところは見直しをしながら、また、体育館を増築する考えも一つの方法であると思う。

公約実現は

高野議員

今後単独で進む関係上、厳しい財政状況の中で大きな財政負担を伴う公約であり、公約が本当に実現出来るのか再度確認し、町民を裏切ることのないよう強く要望する。

町民の知恵を

町　長

合併とか単独であっても自分の町も行財政改革を進め、町民の助言を頂ながら見直すべきは見直し、財政が伴わない事業は出来ないわけであるのでそういったところを考えながら進めていくよう努力する。

グラウンドゴルフの町（まち）としての宣言は

高野議員

グラウンドゴルフといえば大崎町といわれるほど全国的にも有名であり、全国大会でも7回優勝又県大会で8回優勝しており、宣言してもよい時期に来ていると思うが。

他の団体との関連で

教育長

今日までの普及と日常の浸透性を考慮しても他団体・協会等の考えもあると思われるので、現時点では宣言する考えはない。

ナイター料金の助成は出来ないか

高野議員

これから夏場にかけて昼の暑い時間帯より、ナイター料金の助成があれば夜の涼しい時間帯の利用が増えて町民の健康管理の面からもプラスになると思うが。

受益者負担で

教育長

ナイター施設を利用してスポーツをすることは、個々の楽しみでもあり受益者負担の考えもあっても良いのではと思う。小規模夜間照明施設1時間の使用料630円では10人で利用した場合一人当たり63円となり、これが高いかどうかは考えにもよるが、現状では考えていない。